

結果の概要

1 結婚の状況

第1回調査時に独身であった者のこの8年間の結婚の状況をみると、男33.0%、女48.4%が結婚している。また、結婚後の就業状況の変化をみると、女性の離職した割合は10年前と比べ、低くなっている

第1回調査(平成24年)時に独身であった者のうち、この8年間で結婚した割合は、男33.0%、女48.4%であり、独身者の割合は、男67.0%、女51.6%となっている(表1)。

また、この8年間の結婚の状況別に就業状況の変化をみると、結婚後に離職した割合は男0.3%、女16.8%となっている。これを10年前と比べると、女性の離職した割合は低くなっている(図1)。

表1 第1回調査時に独身であった者の性、年齢階級別にみたこの8年間の結婚の状況

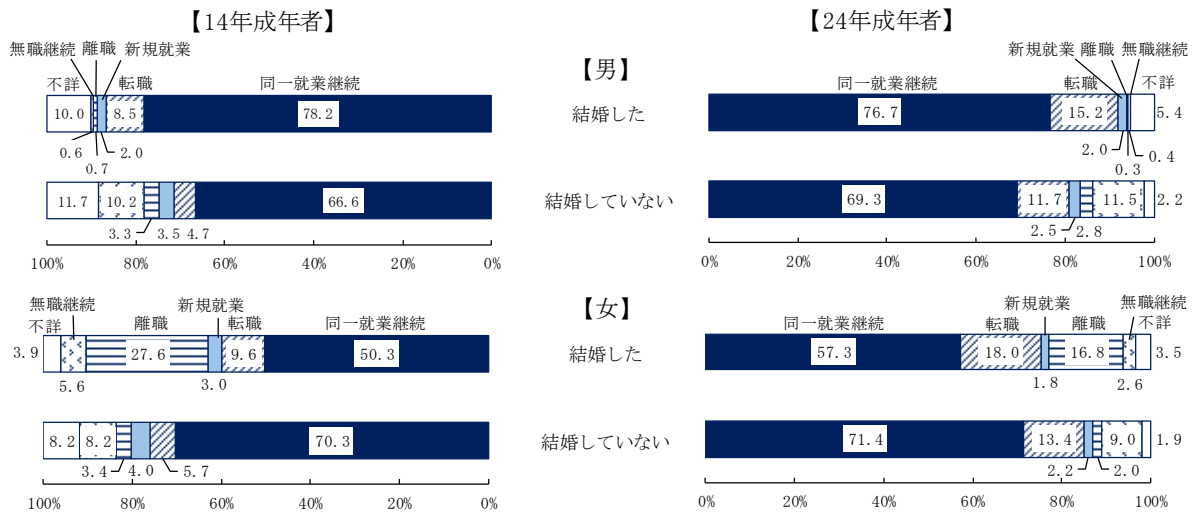
性 第1回の年齢階級 (第9回の年齢階級)	総数	結婚した ²⁾³⁾										結婚していない
		総数	第1回から 第2回間に 結婚	第2回から 第3回間に 結婚	第3回から 第4回間に 結婚	第4回から 第5回間に 結婚	第5回から 第6回間に 結婚	第6回から 第7回間に 結婚	第7回から 第8回間に 結婚	第8回から 第9回間に 結婚		
男	(100.0)	100.0	33.0	4.5	3.8	4.8	3.9	3.8	4.1	4.5	3.7	67.0
20~24歳(28~32歳)	(47.0)	100.0	28.9	0.8	2.3	3.4	3.3	4.5	4.4	5.1	5.1	71.1
25~29歳(33~37歳)	(53.0)	100.0	36.7	7.7	5.1	6.0	4.4	3.2	3.9	3.9	2.5	63.3
女	(100.0)	100.0	48.4	7.1	7.4	6.5	6.7	6.2	5.8	4.7	4.0	51.6
20~24歳(28~32歳)	(49.3)	100.0	45.5	3.6	4.9	5.4	6.8	7.0	7.1	5.6	5.2	54.5
25~29歳(33~37歳)	(50.7)	100.0	51.2	10.5	9.9	7.6	6.6	5.3	4.5	3.8	2.9	48.8

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)「結婚した」には、この8年間に、結婚した後離婚した者を含む。

図1 第1回調査時に独身であった者の性、この8年間の結婚の状況別にみた就業状況の変化【14年成年者・24年成年者】



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)就業状況の変化は、「結婚した」は結婚前後の、「結婚していない」は第8回から第9回間の就業状況の変化である。

3)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

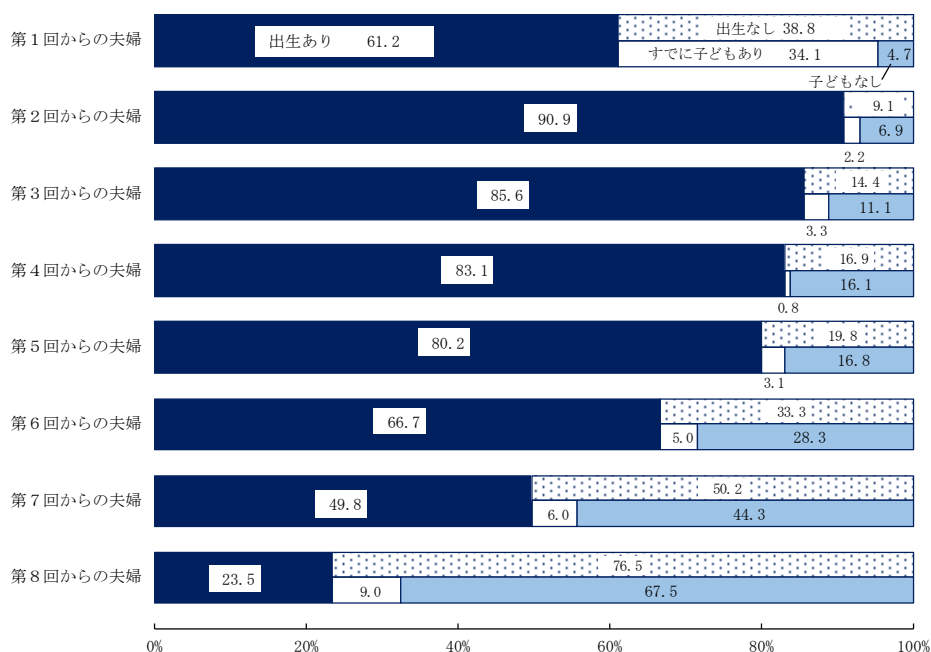
2 出生の状況

この8年間での出生状況をみると、「第1回からの夫婦」から「第6回からの夫婦」では半数以上、「第7回からの夫婦」では49.8%、「第8回からの夫婦」では23.5%に1人以上の子どもが生まれた。また、この8年間の出生の状況別に就業状況の変化をみると、10年前と比べ、出生のあった妻が離職した割合は低くなっている

この8年間に子どもが生まれた割合は、第1回からの夫婦（第1回調査時ですでに結婚していた夫婦）61.2%、第2回からの夫婦90.9%、第3回からの夫婦85.6%、第4回からの夫婦83.1%、第5回からの夫婦80.2%、第6回からの夫婦66.7%、第7回からの夫婦49.8%、第8回からの夫婦23.5%となっている（図2）。

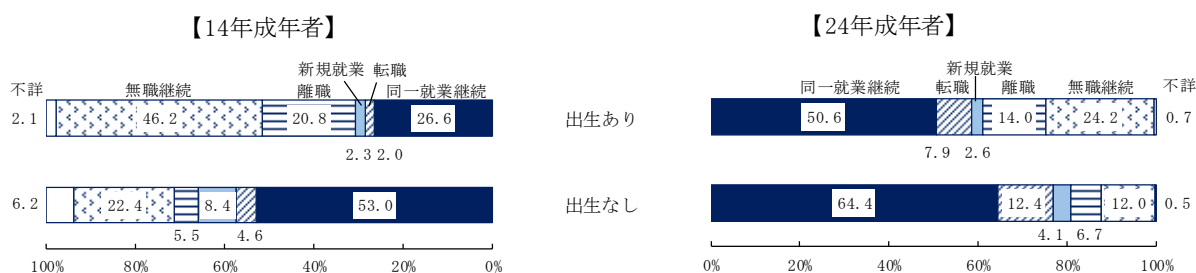
また、この8年間の出生の状況別に就業状況の変化をみると、出生のあった妻が離職した割合は14.0%となっており、10年前と比べて低くなっている（図3）。

図2 夫婦におけるこの8年間の出生の状況



- 注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2)「第1回からの夫婦」とは、第1回調査時ですでに結婚していた夫婦、「第2回からの夫婦」「第3回からの夫婦」「第4回からの夫婦」「第5回からの夫婦」「第6回からの夫婦」「第7回からの夫婦」「第8回からの夫婦」とは、当該調査回に結婚したと回答があった夫婦を計上している。

図3 この8年間の出生の状況別にみた妻の就業状況の変化【14年成年者・24年成年者】



- 注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2)妻の就業状況の変化は、「出生あり」は出生前後の、「出生なし」は第8回から第9回にかけての就業状況の変化である。
 3)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3 就業の状況

(1) 結婚前後の就業状況の変化

結婚前後とも「仕事あり」の割合は、男 99.3%、女 81.9%。また、結婚前後とも「正規の職員・従業員」の割合は、男 94.9%、女 75.2%

第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した者について、結婚前後の就業状況の変化をみると、結婚前に「仕事あり」で結婚後も「仕事あり」の割合は、男 99.3%、女 81.9%となっている。

また、「仕事あり」を就業形態別にみると、結婚前後で変わらず「正規の職員・従業員」であった割合は、男 94.9%、女 75.2%となっている。(表2)

表2 第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した者の性、仕事の有無・就業形態別にみた結婚前後の状況

性 結婚前の仕事の有無・就業形態	総数	結婚後の仕事の有無・就業形態										
		仕事あり	会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事(内職)	正規の職員・従業員	アルバイト・パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他	仕事なし	
男	(100.0)	100.0	98.8	5.7	1.9	0.3	84.5	1.6	0.3	1.7	1.0	0.7
仕事あり	(97.4)	100.0	99.3	5.7	1.9	0.3	85.2	1.5	0.3	1.6	0.9	0.3
会社などの役員・自営業主	(5.7)	100.0	100.0	61.5	-	-	33.3	2.6	-	-	-	-
自家営業の手伝い	(1.9)	100.0	100.0	7.7	84.6	-	7.7	-	-	-	-	-
自宅での賃仕事(内職)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
正規の職員・従業員	(80.0)	100.0	99.3	1.6	-	0.2	94.9	0.2	-	0.9	0.2	0.4
アルバイト・パート	(2.0)	100.0	100.0	7.1	-	-	35.7	42.9	-	7.1	7.1	-
労働者派遣事業所の派遣社員	(0.7)	100.0	100.0	20.0	-	-	-	20.0	40.0	20.0	-	-
契約社員・嘱託	(2.6)	100.0	100.0	-	-	-	61.1	5.6	-	22.2	5.6	-
その他	(0.9)	100.0	100.0	-	-	-	66.7	-	-	-	33.3	-
仕事なし	(2.5)	100.0	82.4	5.9	-	-	58.8	5.9	-	5.9	5.9	17.6
女	(100.0)	100.0	80.0	2.2	1.1	0.1	56.7	10.6	2.6	5.4	0.9	19.7
仕事あり	(94.6)	100.0	81.9	2.3	1.1	0.1	59.1	10.2	2.5	5.3	0.8	17.8
会社などの役員・自営業主	(2.3)	100.0	84.4	40.6	-	-	37.5	6.3	-	-	-	12.5
自家営業の手伝い	(0.6)	100.0	87.5	-	87.5	-	-	-	-	-	-	12.5
自宅での賃仕事(内職)	(0.3)	100.0	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-	-	50.0
正規の職員・従業員	(68.3)	100.0	85.1	1.5	0.2	0.1	75.2	5.0	0.6	1.8	0.4	14.5
アルバイト・パート	(9.9)	100.0	65.9	0.7	0.7	-	8.7	47.1	2.9	5.8	-	34.1
労働者派遣事業所の派遣社員	(2.8)	100.0	69.2	5.1	-	-	7.7	5.1	43.6	5.1	-	30.8
契約社員・嘱託	(7.3)	100.0	75.5	-	2.0	-	12.7	12.7	5.9	39.2	2.9	24.5
その他	(0.7)	100.0	90.0	-	-	-	30.0	10.0	-	20.0	30.0	10.0
仕事なし	(4.4)	100.0	41.0	1.6	1.6	-	6.6	19.7	4.9	6.6	-	59.0

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

3)結婚前・結婚後の仕事の有無の「総数」「男」「女」には不詳を含み、「仕事あり」には就業形態不詳を含む。

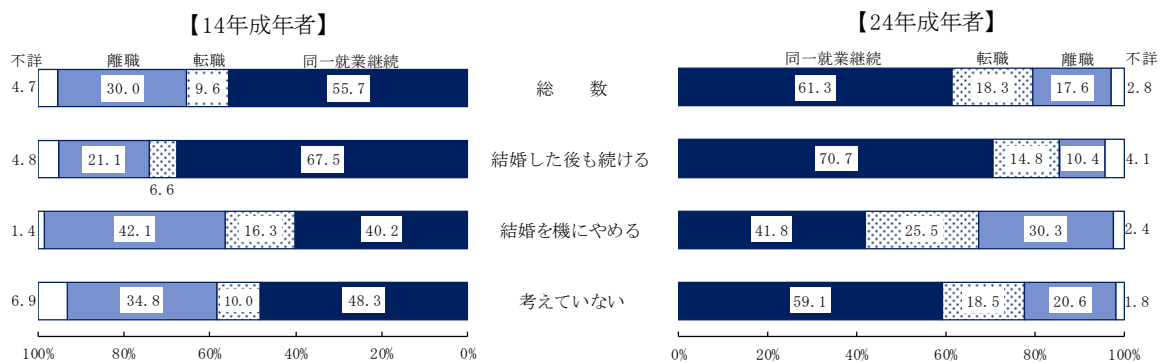
(2) 女性の就業継続意欲と就業状況の変化

この8年間に結婚した女性、この8年間に子どもが生まれた夫婦は、10年前に比べ、いずれの就業継続意欲においても「同一就業継続」「転職」の割合が高い

第1回調査時に独身でこの8年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）について、第1回の結婚後の就業継続意欲別に結婚後の就業状況の変化をみると、10年前に比べ、いずれの就業継続意欲においても「同一就業継続」「転職」の割合は高くなっている（図4）。

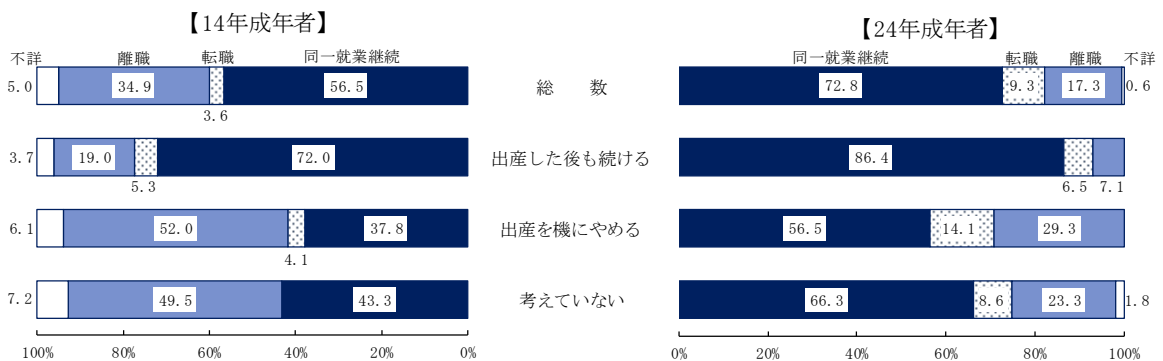
また、この8年間に子どもが生まれた夫婦の妻（出産前に仕事あり）について、第1回の子産後の就業継続意欲別に産後の就業状況の変化をみると、10年前に比べ、いずれの就業継続意欲においても「同一就業継続」「転職」の割合は高くなっている（図5）。

図4 この8年間に結婚した女性（結婚前に仕事あり）の第1回の結婚後の就業継続意欲別にみた結婚後の就業状況【14年成年者・24年成年者】



- 注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2) 「結婚後の就業継続意欲」は、第1回調査時の状況である。
 3) 8年間で2回以上結婚している場合、最新の結婚の状況について計上している。

図5 この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）の第1回の子産後の就業継続意欲別にみた産後の妻の就業状況【14年成年者・24年成年者】



- 注：1) 集計対象は、9頁「参考」を参照。
 2) 「出産後の就業継続意欲」は、第1回調査時の状況である。
 3) 24年成年者の「考えていない」は、「続けるかどうか考えていない」「今後の出産は考えていない」と回答した者を集計している。
 4) 8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

(3) 妻の職場の育児休業制度の有無・利用にあたっての雰囲気と出産後の妻の就業状況

育児休業制度がある場合でも、「利用しやすい雰囲気がある」方が「利用しにくい雰囲気がある」より、出産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い

この8年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻に仕事あり）について、妻の就業形態で利用可能な育児休業制度の有無別に産後の妻の就業状況をみると、「制度あり」の方が「制度なし」よりも産後の「同一就業継続」の割合が高く、「制度あり」の場合でも、「利用しやすい雰囲気がある」方が「利用しにくい雰囲気がある」より、産後の「同一就業継続」の割合が高くなっている（表3）。

表3 この8年間に子どもが生まれた夫婦（出産前に妻に仕事あり）の出産前の妻の職場の育児休業制度の状況別にみた産後の妻の就業状況

(単位：%)

育児休業制度の有無と 利用にあたっての雰囲気	産後の妻の就業状況 ⁵⁾				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
総数	(100.0)	100.0	70.6	9.8	19.3
制度あり	(77.9)	100.0	81.6	9.0	9.0
利用しやすい雰囲気がある	(59.5)	100.0	85.3	6.3	7.9
利用しにくい雰囲気がある	(6.4)	100.0	70.7	12.2	17.1
どちらともいえない	(10.7)	100.0	69.6	20.3	10.1
制度なし	(9.0)	100.0	13.8	8.6	77.6
制度があるかないかわからない	(11.8)	100.0	42.1	17.1	40.8

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3)育児休業制度の有無の「総数」には、育児休業制度の有無不詳を含み、「制度あり」には、利用にあたっての雰囲気不詳を含む。

4)育児休業制度の「あり」「なし」とは、利用可能な育児休業制度があるかどうかをいう。

5)産後の妻の就業状況の「総数」には、産後の妻の就業状況不詳を含む。

(4) 夫の平日・休日の家事・育児時間と産後の妻の就業状況

夫の平日の家事・育児時間が長いほど、産後の妻の「同一就業継続」の割合が高い

この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）について、産後の夫の家事・育児時間別に産後の妻の就業状況をみると、夫の平日の家事・育児時間が長いほど、産後の「同一就業継続」の割合が高くなっている（表4）。

表4 この8年間に子どもが生まれた同居夫婦（出産前に妻に仕事あり）の産後の夫の家事・育児時間（平日・休日）別にみた産後の妻の就業状況

(単位：%)

産後の夫の家事・育児時間	産後の妻の就業状況 ⁴⁾				
	総数	同一就業継続	転職	離職	
平日	(100.0)	100.0	69.7	10.9	18.8
家事・育児時間なし	(5.7)	100.0	50.0	11.8	38.2
2時間未満	(48.4)	100.0	68.5	12.1	19.0
2時間以上4時間未満	(30.7)	100.0	72.1	8.7	18.6
4時間以上	(10.9)	100.0	76.9	10.8	10.8
休日	(100.0)	100.0	69.7	10.9	18.8
家事・育児時間なし	(0.7)	100.0	75.0	-	25.0
2時間未満	(14.2)	100.0	65.9	12.9	20.0
2時間以上4時間未満	(22.1)	100.0	65.2	11.4	23.5
4時間以上	(59.8)	100.0	72.0	10.6	16.8

注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。

2)8年間で2人以上出生ありの場合は、末子について計上している。

3)家事・育児時間の「平日」「休日」には、家事・育児時間不詳を含む。

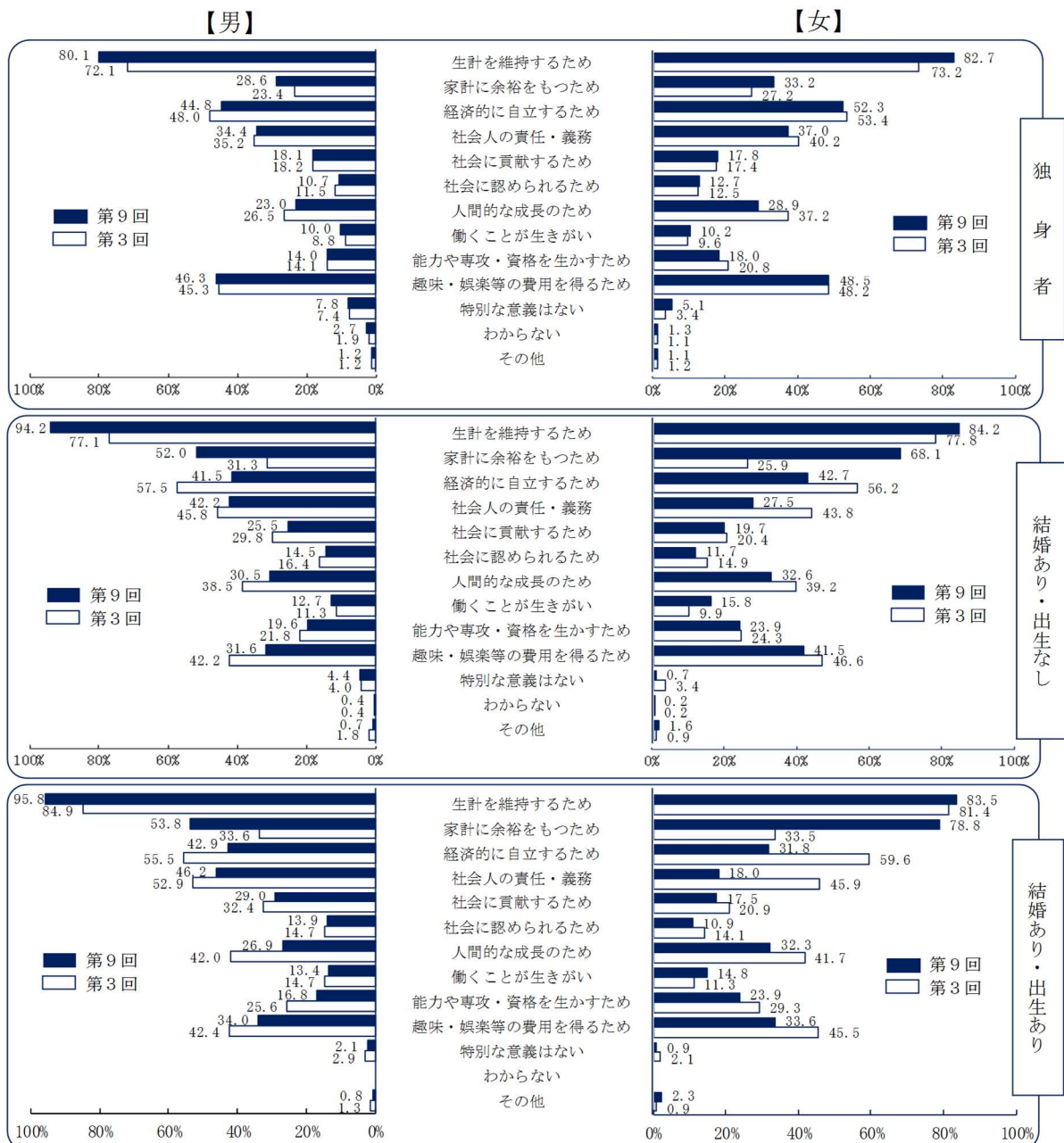
4)産後の妻の就業状況の「総数」には、産後の妻の就業状況不詳を含む。

4 職業観

この6年間の結婚・出生の状況別に第3回と第9回の職業観をみると、独身者は大きな差はないが、結婚、出生を経験した者は差が大きい

第1回調査時から第3回調査時まで独身であった者について、この6年間の結婚・出生の状況別に第3回の職業観と第9回の職業観をみると、独身者は男女ともに大きな差はみられないが、結婚あり・出生なしの男は「家計に余裕をもつため」の割合が増加し、「経済的に自立するため」の割合が減少、結婚あり・出生ありの男は「家計に余裕をもつため」の割合が増加し、「人間的な成長のため」の割合が減少している。女は結婚あり・出生なし、結婚あり・出生ありともに「家計に余裕をもつため」の割合が増加し、「経済的に自立するため」「社会人の責任・義務」の割合が減少している。(図6)

図6 性、この6年間の結婚・出生の状況別にみた第3回及び第9回の職業観（複数回答）



注：1)集計対象は、9頁「参考」を参照。
2)結婚あり・出生ありの「わからない」には計数がない。